

# 新風

発行 神石高原町議会議員

## 木野山孝志 後援会

平成22年 1月1日 NO. 21

神石高原町父木野 2953 - 1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年は大変お世話になりました。早いもので、新町発足から6年目の新春を迎えました。初心を忘れず、本年も一生懸命頑張りますので、倍旧のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

神石高原町議会議員

木野山 孝志

昨年は、リーマンショック以来の世界金融恐慌の影響で日本経済もなかなか回復せず、10年来的デフレ不況でデフレスパイラルに陥ったとも言われ経済的に厳しい年でした。アメリカでは政権が共和党から民主党にかわり1月20日オバマ大統領が就任しました。我が国でも、戦後初めて選挙で政権が代わり民主党・鳩山内閣が誕生しました。3ヶ月ほど経過しただけですが、事業仕分

けに代表されるパフォーマンスや社会が子どもを育てるといったコンセプトでの所得制限を設けない子ども手当制度の導入・扶養控除の廃止など大きく何かが変わるうとしているのかなと感じる年でした。

本町では、1月のアンケート調査を基に本年度からCATV事業が本格実施となり、県病院も町立病院として再スタートしました。井関定住団地も工事が始まり、合併し新町になってからの新事業が一挙に始まった年でもありました。まさに「新」の年だったと思います。見方を変えれば、財源不足で3つの過剰の解消を目指す牧野町政に麻生政権による経済対策というガソリンが注ぎ込まれ、エンジンに火が付いたところでしょうか。政権が代わりブレキが掛かるのかなと心配しましたが、鳩山政権もデフレスパイラルでお尻に火が付いた様子。新年を迎えてまず前向きに再スタートです。

## 新型インフルエンザワクチン

### 摂取補助に981万円

## 12月補正予算

12月定例会は、12月15日から21日まで開かれました。この度の12月補正予算は、一般会計で1億3846万4千円、特別会計で207万1千円増額され、総額で184億253万3千円となりました。

主なものは一般会計では、新型インフルエンザワクチン摂取者の負担補助に981万5千円、工場誘致設置事業に1520万円、美しい森づくり事業に8020万円などが追加補正されました。

特別会計では、井関地区定住団地整備事業の上水道整備事業（総額で1億600万円）が総合開発事業特別会計に振替えられ、新たに定住団地の計画的販売推進のためにアドバイザー契約を結び3か月分125万円が追加補正されました。



ふれあい高原コンサート  
コールさんわ

## 教育委員会委員の任命同意

中岡 康則さん(父木野)

(任期満了；2期目)

山本 剛久さん(油木)

(横山氏の辞任に伴う)

\* 山本さんは、H21.12.22開催の  
教育委員会で委員長に就任されました。

任命に同意しました  
ご活躍をお祈りいたします。

H21年12月補正額

会 計 名		12月補正額	補正後予算額
一 般 会 計		1億3,846万円	1,35億6,349万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計		11億6,903万円
	後期高齢者医療特別会計		3億6,276万円
	老人保健特別会計		5,478万円
	介護保険特別会計		18億2,489万円
	簡易水道事業特別会計	-5,235万円	6億7,579万円
	飲料水供給施設事業特別会計	17万円	3,587万円
	農業集落排水事業特別会計	-5,300万円	2億3,527万円
	分収育林事業特別会計		20万円
	総合開発事業特別会計	10,725万円	2億1,355万円
特別会計 計		207万円	45億7,214万円
病 院 事 業 会 計			2億6,690万円
計		1億4,053万円	1,84億0,253万円

調整池整備工事  
ボーリングの結果、設  
計段階では軟岩の予定だ  
ったが中硬岩が現出。作  
業方法を変更したために  
請負金額が6898万5

工事請負契約の変更  
井関定住団地

千円から9587万9千  
円に変更された。設計の  
段階でボーリング箇所  
の不足が原因と思われる。  
場内道路水路工事  
販売を有利にするため  
に、1工区、5工区の間  
に、内道路のコース変更を行  
い、販売区画を97区画

から77区画に変更する。  
請負金額が、5775万  
円から6968万4千円  
に変更された。  
坪単価も低下すると思  
われ、販売計画の大幅な  
変更である。どのような  
団地をイメージしている  
のか。ターゲットは絞る  
のか。明確にしたい。



高蓋小学校 学習発表会

## <平成21年度12月条例制定・改正>主なもの

### 地域情報通信基盤整備事業分担金の徴収条例

早期加入者（H22・9月末まで）には、加入分担金・工事分  
担金を免除する（一般家庭）など分担金の徴収について定める。

### 廃棄物の処理・清掃条例の一部改正

H22年度から粗大ゴミの収集方法が変更となり直接搬入とな  
ります。それに伴い処理手数料が変更となりました。（月・水・  
金・日にクリーンセンターへ直接搬入）

処理手数料

粗大ゴミなど直接搬入によるもの 150円/10kg

（指定処理施設へ直接搬入されるゴミの処理料が50円

150円/10kgに値上がりとなります）

## <財産の取得> 11月、12月議会での承認分

消防団 活動服 700着

1139万2千円（相手方）おしゃれ衣料フクマン

町立病院 コピー断層撮影装置（CT）

2998万8千円（相手方）GMヘルシパ（株）

町立小学校（6校）児童用木製机・椅子 380セット

946万8千円（相手方）（株）サトー

町立中学校（4校）児童用木製机・椅子 220セット

546万3千円（相手方）ビーム機材（有）

町立小・中学校 教育・教務コンピュータ システム一式

7276万5千円（相手方）ビーム機材（有）

町立小・中学校 電子黒板付きデジタルテレビ一式

960万4千円（相手方）（有）ソネ事務機

## 新しい過疎計画と 新町長期建設計画の関係は

**木野山** 現在の過疎法は平成21年度で終了。それに替わる新しい制度、新過疎法はこの度与党となつた民主党も前政権の自民党・公明党も合意していると言及んでいま

す。本町もそれに倣い、新しく過疎計画を策定する必要があり、現在調査・検討中との事ですが、新町長期建設計画との関連もありどのようなコンセプトで行われているのか。

**町長** 過疎法の継続は必要。民主党は中身を変えたいようだが方向性がつくまで1〜2年かかると思う。本町も新過疎法に合わせて若干の見直しを行う。少子高齢化対策、農業政策、保険・医療対策、定住対策が大きな課

題となる。これに取組みたい。

**木野山** 財源との関連について詳しい考え方を

企画財政課長 新過疎法の対象事業について、現在ハード事業のみであつたが子育て、医療福祉などソフト事業へも過疎対策事業債が充当できないかと検討されている。計画の中でソフト事業も含めたい。新町長期建設計画を基に事業を洗い出している。CATV、学校建設など長期計画に無かつた事業もありそれに伴い計画を変更する。財源は、今日の国・県の動向で不確実である。出来るだけ有利な補助事業、有利な起債を考えた

**木野山** ハード事業の見直し、継続事業はどうする。

企画財政課長 ハード事業の見直しは、全く計画性が無く事業計上されたもの、県営の事業で見直されるものは長期的に見直す。継続事業は見直しはしない。新規の事業で単年度で大きな財源が必要な事業を組んだ場合は事業の年度調整を行う。停止はしない。

## 定住対策促進事業はどうする

**木野山** 「子育てありがとう」「子育てご苦労さん」「新婚さん」の定住対策促進事業は、今年度で終了となっている。事業開始以来、制度も定着し定住対策として有

効な事業として評価している。現在のままで継続を望むが。

**町長** 概ね拡大するとも縮小せずに継続したい。というのが基本的な考え方です。やまなみ商品券で対応する。

将来構想として、結婚前からの斡旋制度、ゼロ歳からの支援、2子目・3子目の現在より踏込んだ支援、保育料の段階的無料化など考えているがこの部分は多額になるので商品券での対応は困難と思う。



さんわふるさとフェア2009

## 予算質問

**木野山** 井関定住団地販売に係るアドバイザー契約において、この度3ヶ月分として125万円の予算計上。年間500万円の契約だが、中身は何か。販売にどこまで係わるのか。

企画財政課長 過去の販売実績、経験を基に町及び代理販売業者に指導助言する。大手ハウスメーカーの営業経験を生かし、購買希望者に「田舎暮らしセミナー」「住宅ローン借入れ相談」などやイベントを企画し、総合的なアドバイスをする。

**木野山** 敬老会清算分の13万1千円増の内訳は  
企画財政課長 油木52人増、神石19人減、豊松56人増、三和42人増



# どうする 三和地区小学校統合 井関定住団地開発

三和地区小学校統合については、学校再配置検討委員会の答申に基づき教育委員会は H23 年度 4 校同時統合（二幸、高蓋、三和、来見）新校舎建設方針が定められ、その方向で説明会を統合対象校の保護者、地域に対し実施してきた。概ね合意の方向だったが、この度 11 月 15 日の来見地区保護者説明会において、町長自ら「政策判断」として、4 校統合の方針は変更しないが来見小の統合を当分の間見送ることを表明された。根拠・理由は、来見地区地元の 508 名の延期陳情書、販売のプロによる意見、来見団地への転入者の意見などを総合的に判断し、少子化対策・定住対策のため井関定住団地の開発、販売は欠かせずそのためには来見小学校は必要と苦渋の選択をした。との事である。

この「政策判断」をめぐり、町民、議会、当の教育委員会など関係者に大きな波紋がひろがっている。

問題点を整理すると、

教育環境整備と団地開発の重要性

団地販売と小学校との関連性 団地のイメージ ターゲット

付随して

意思決定の過程における正当性

教育環境のあり方（複式か単式か）教育環境の均等化

地域サービスの均等化（居住環境の均等化）

など多くあります。以下、考えを質しました。

共存共栄の考えで決めた。

小学校と定住団地は相関関係にあり、学校は必要だ。安価で自然環境に恵まれている、心を癒される団地を目指し、若者と中年とを含めて快適な田舎暮らしが出来る生活空間の団地を作りたい。

差別化は農業支援で。

耐震構造はクリアしている。1 名減で複式になるだけ。

け。臨時教師の配置や交流事業でカバーできる。

教育環境は未整備となるがどう考えるのか。小学校が無くなる地区への対応はどうする。高蓋地区での説明会はどうだったか。

町長 教育委員会も苦渋の判断をされたと思うが理解は頂いたと思う。天秤にかけるのではない。

来見地区の子供たちの

木野山 町長は学校設置者として、教育委員会が「子供たちにとって望ましい学校教育環境を整備するために」この度決定した「三和地区小学校再配置方針」と異なる方針を出されたからには来見地区を除く 3 地区にその「政策判断」の根拠を説明する責任があります。以下、伺います。

6〜10 分のところに学校があれば差はないと思うが。

町長 転入者にはイメージが大事。学校が在る事が大事と思う。

木野山 来見小は H23 年から複式となる。それも多い生徒数の複式。担任は大変。教育環境が未整備ということだ。

町長 教育論は避けたいが、入ってこられたら復元する。一般的に言えば妥当だ。

木野山 4 校統合が前提と言われるが、早いうちの統合となると、団地を購入したら学校が無くなった、という事になる。こんな販売をしてもいいのか。

町長 詰め将棋をしても建設的でない。方向性を見た時に統合制をだす。

すばらしい田舎があるからそこで生活をする勝つか負けるかの議論は建設的でない。

木野山 そう言った議論ではない。今後地域での説明が必要であり、納得できなければ将来に禍根を残す。

団地のイメージですが、近隣の団地も売れない状況である。言われた「安価で自然を生かした田舎暮らし」というのではあまりインパクトが無い。もう少し踏み込んだ他の団地と差別化できる団地としてのコンセプトが欲しい。

副町長 これから皆様の意見を聞き相談する。町内で横断的な組織も作っている。方向性を出し報告する。

木野山 高蓋地区も意見をしっかりと受け止めて対応して頂きたい。